

地域移行促進コーディネーター事業

事業の目的

障害者支援施設に地域移行促進コーディネーターを配置し、都内施設（94施設）と都外施設（44施設）相互間の連携を図りながら、区市町村や相談支援事業との連携体制を構築するとともに、新規開拓・受入促進員を配置し、重度障害者に対応する共同生活援助事業所等の掘り起こし等に取り組むことにより、施設利用者の地域生活への移行を促進する。

<地域移行促進コーディネーターの役割>

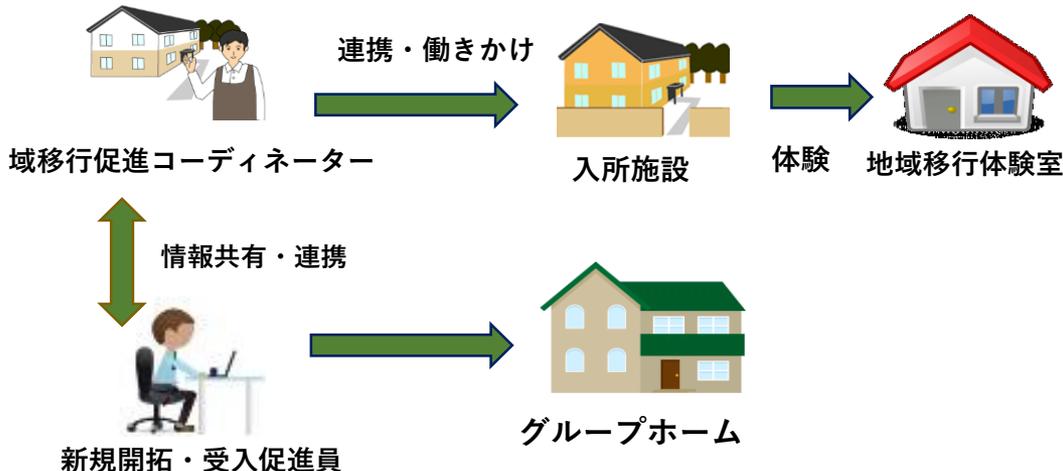
入所者への相談支援、ピアサポーター、GH体験実習、相談支援、事業者等との連携

<新規開拓・受入促進員の役割>

GHの受け皿の掘り起こし、設置促進、受入促進等
コーディネーター及び入所施設との連携による体験実習等に向けた調整支援

都内を7ブロック（知的障害者施設6ブロック）
（身体障害者施設1ブロック）

都外を3ブロック



<地域移行体験室の設置>

施設入所者を対象にGHでの生活の疑似体験や地域生活の訓練ができる移行体験室を設置・運営